

ダイダンのあゆみ

人が集まり、活動する空間に、高度な技術で快適を提供し続ける総合設備工事業。
当社では一世紀以上にわたり、そのノウハウや、お客さまからの信頼を積み上げてまいりました。
事業活動を多角化するかたわらで、サステナビリティへの貢献にも注力しています。
ダイダンはこれからも歴史と伝統を大切にしながら、新たなチャレンジを続けます。

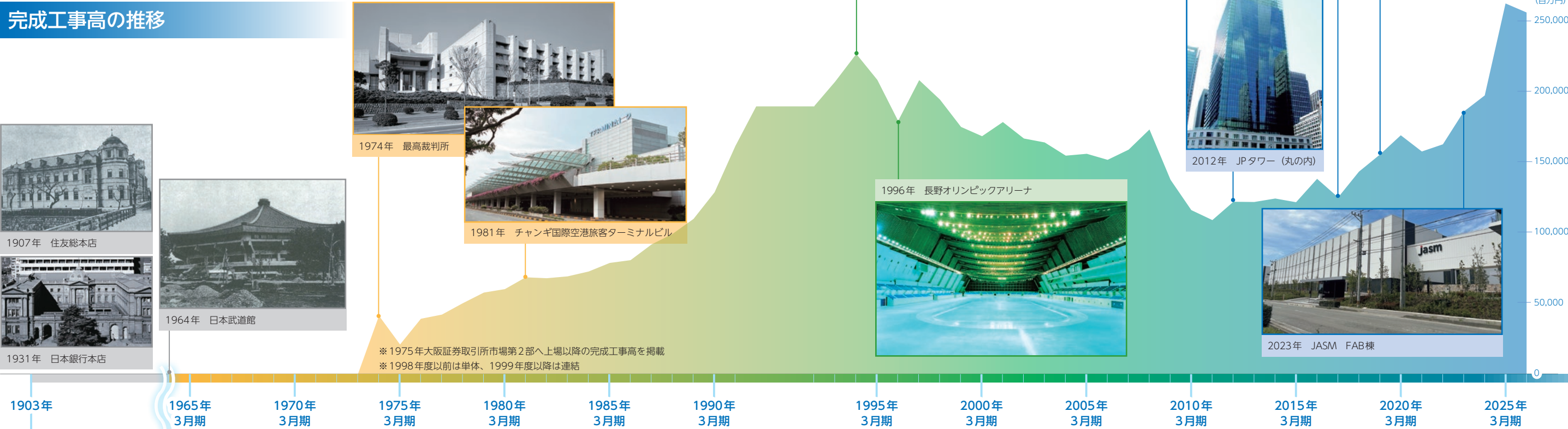


1994年 関西国際空港 旅客ターミナルビル

2017年 GINZA SIX

2019年 大丸心斎橋店本館

完成工事高の推移



社会の動向

- ・1904 日露戦争
- ・1914 第一次世界大戦
- ・1923 関東大震災
- ・1945 終戦
- ・1964 東京オリンピック
- ・1973 第1次オイルショック
- ・1979 第2次オイルショック
- ・1991 バブル崩壊
- ・1995 阪神・淡路大震災
- ・2008 リーマン・ショック
- ・2011 東日本大震災
- ・2020 新型コロナウイルス感染症流行
- ・2021 東京オリンピック・パラリンピック開催
- ・2025 大阪・関西万博開催

工業生産の勃興を視野に1903年大阪で創業	
1903 (明治36)	創業者の菅谷元治が、大阪市北区壱屋町に工業生産に必要な機械、電気器具、鉄材等の販売を手がける菅谷商店を開設
1906 (明治39)	菅谷商店と同じ大阪市北区壱屋町に、「村井菅谷営業事務所」を開き、暖房工事業に進出
1907 (明治40)	日露戦争を契機とする日本の重工業が重きをなす時代の転換期を迎えており、電気利用も本格化の兆しを見せていたことから、電気工事業を専業とし、商号を大阪電気商会と改める
1912 (明治45)	名古屋、東京に出張所を開設（1921年に支店に昇格）

ビルの大型化、産業施設の高度化に対応	
1965 (昭和40)	「大阪電気暖房株式会社」に商号変更
1975 (昭和50)	大阪証券取引所市場第2部に上場
海外事業の開拓	
1977 (昭和52)	6月 海外事業部を設立
	8月 シンガポールに駐在員事務所を設置
1979 (昭和54)	1月 シンガポール駐在員事務所を支店に改組
1981 (昭和56)	大阪証券取引所市場第1部に指定替え
1983 (昭和58)	現在地（大阪市西区江戸堀）に本店ビルを建設

先端設備技術の研究開発を強化	
1984 (昭和59)	埼玉県入間郡三芳町に技術研究所を建設 インテリジェントビル、クリーンルーム対応の研究開発を推進
1987 (昭和62)	4月「ダイダン株式会社」に商号変更
1993 (平成5)	東京証券取引所市場第1部に上場
2003 (平成15)	創業100周年

脱炭素社会への対応、再生医療の事業化推進、海外事業の拡大	
2017 (平成29)	4月 再生医療分野の産業化への貢献を目指したオープンイノベーションを進めるためオープンラボ『セラボ殿町』を開設
2020 (令和2)	10月 ベトナム・ハノイ市に子会社「DAI-DAN (VIETNAM)」を設立
2022 (令和4)	3月 台湾に子会社を設立
2024 (令和6)	10月 海外事業の拡大を目指し、シンガポールの「Presico Engineering Pte.Ltd」を連結子会社化
2025 (令和7)	10月「人づくりの拠点」ダイダン八尾研修所改修工事に着工